



2012

5

No.478



理 念

130年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と
 意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・
 予防医療を中心に
 医療機能の
 充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関
 との連携を行い
 安心できる医療の
 展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・
 医療情報公開・
 医療ボランティアの
 活動を行います

医療人育成

医療に携わる
 喜びが持てる
 医療人の育成を
 行います

**五木村診療所 (熊本県球磨郡五木村) に
 電子カルテ導入**

平成 23 年 4 月、当院は五木村診療所の指定管理者となり、診療所の運営を行っています。スムーズな診療を行うためには IT 化による情報共有が課題でありましたが、今年 4 月より当院で運用している電子カルテを導入することで IT 化の第一歩を踏み出しました。

具体的には、当院と診療所での診療記録・検査結果を当院の電子カルテサーバへ蓄積し当院・診療所のどの電子カルテ端末でも参照できるようにしました。情報の共有化を行うことにより、これまで患者の皆様へ渡していました紙（紹介状や検査結果用紙）や CD-R（CT・MRI 画像など）は不要となり、身軽に受診していただき、直接電子カルテ端末で確認できるようになりました。血液検査や尿検査などの検体検査については、データの比較がスピーディにできることや重複して検査を行うことが少なくなり、患者さんの医療費の負担を軽減することなども期待されます。薬剤の処方については、医薬情報のデータベース管理を行うなどの医薬品の適正使用の推進や薬剤過誤を起こさない安心安全な医療を提供するためのリスクマネジメントを行うことができるようになりました。

なにより、診療所に通院中の方が夜間に急なご病気で当院を受診される場合も、診療所での情報を確認しながら、迅速な対応ができるようになりました。

当院では今後も五木村診療所を受診される方や当地域住民の皆様の健康をサポートするため、積極的に IT を取り入れ、へき地医療の推進を目指してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

情報企画課 高田 要人



定位放射線治療について

当院では昨年の平成 23 年 4 月より脳定位放射線治療を行うためのシステムを導入しました。平成 23 年の 5 月号でもご紹介しましたが、同年 12 月に 2 例の症例を実施しましたのでご報告致します。

定位放射線治療とは、いわゆるピンポイント放射線治療で高精度放射線治療の一つです。放射線が正常な組織に極力当たらないようにして、病巣に集中して当たるように治療を行います。有力な適応としては転移性の脳腫瘍（脳転移）が挙げられます。

脳転移に対する治療は目に見える病巣の手術切除や放射線による全脳照射（目に見えない範囲も含め脳全体に放射線を当てる方法）などありますが、定位放射線治療では手術のように目に見える範囲を放射線で治療をします。手術に比べ患者様の負担や合併症の危険が小さいことが特徴です。

固定は頭部をピンで固定するか歯型を噛んで行いますが、高精度に放射線を照射するには精度の高い歯型の作成が重要です。当院には歯科口腔外科があり、歯科技工士が在籍していて、歯型作成時に歯型の加工など歯科と連携して行うことが出来ます。



また、通常義歯の有る方はピン固定する場合がありますが、当院では歯科と協力して義歯の状態を確認したり歯型の固定を強くするなど義歯の有る方でもピン固定なしで治療を行える場合があります。実施した 2 例目の患者様は義歯が有りましたが、全てご自分の歯の 1 例目と遜色なく高い固定精度となりました。

頭部の定位放射線治療が出来る施設は県下でも数施設しかありません。まだ症例数は少ないですが、この人吉球磨の地域に導入されたことにより、完結型の医療により貢献できると考えます。今後も症例を重ね、皆様から信頼される医療を目指したいと思います。

画像診断センター 診療放射線技師 前田 竜一郎

病院見学会開催

5 月 3 日（祝）就職先を検討している看護師・助産師（学生を含む）を対象にした病院見学会を開催し、9 人（昨年 6 人）の方がご参加下さいました。参加者の内訳は来年卒業予定者が 4 名、現職者が 5 名で、県内だけでなく福岡県・鹿児島県からも来られていました。

参加のきっかけは、学校卒業前の就職ガイダンスで病院見学会のことを知って友達を誘ってきた、地元へ帰ろうと思って当院のホームページを見た、などでした。

スタッフで病院内を案内した後、認定看護師 2 名



話聞き入る参加者

院内見学の様子

より認定看護師を目指した理由、認定看護師としての活動について話をしました。なかでも、認定看護師としての熱い思いが参加者を引きつけていました。次に入職 2 年目の看護師からは、新人教育をしっかりやってもらっていること、認定看護師から直接指導してもらえること、今、楽しく仕事をしているなどの話をしました。和気あいあいとした雰囲気の中、職員寮・看護師の教育・業務・勤務体制についてなどについて紹介し終了しました。

会場内には看護局で取り組んでいる各部署のフィッシュ活動の写真を貼り、やりがいのある職場であるということを紹介しました。

参加者より「実習でお世話になりました。来年人吉に帰ってきたいのでよろしくお願いします。」との言葉も聞かれました。

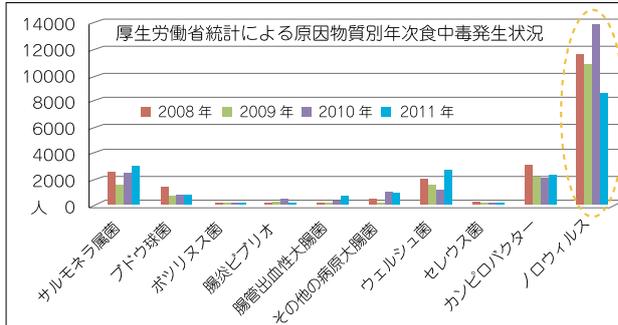
今後も院内の紹介やスタッフの生の声を届け、人吉総合病院を知って、選んでいただく方が増えていくことを目指して行きたいと思います。

ICU 病棟科長 植木さゆり

感染拡大を阻止！（ノロウイルス）

食中毒や感染性胃腸炎が起りやすい季節となりました。

先日の院外における職員集団感染性胃腸炎は、まだ皆さん記憶に新しいことと思います。感染源を特定することはできませんでしたが、有症状者から共通して検出された病原体は『ノロウイルス』でした。みなさんも良くご存知と思いますが、厚生労働省が発表している食中毒の病原体では毎年トップにあがっています。



ノロウイルス

さいわいにも院内への感染拡大には至りませんでした。ひとたび院内で発生したらアウトブレイクを阻止できるか考えさせられる事例でした。職員は病院内外の出入りの機会が多いことから、院内に病原体を持ち込む可能性が高いといえます。また、日々のケアで患者と密接にかかわるため、病原体の媒介者となることも認識しておかなければなりません。そのためには、日ごろからの健康管理はもちろん、感染防止対策が実施されていることが重要です。

CDCの「医療施設におけるノロウイルス胃腸炎のアウトブレイクの予防と制御のためのガイドライン」の勧告から感染対策の重要ポイントを一部ご紹介します。

《ポイント》

1. 患者隔離
2. 手指衛生：医療従事者、患者、面会者の手指衛生の遵守を促す。ノロウイルス胃腸炎が確定または疑われている患者をケアしたり、接触したあとの手指衛生には石鹸と流水を用いる。
3. 環境清掃 …など

手指衛生は、いつでも感染対策の基本です。



当院では、こうした院内感染症発生の防止と発生時の早期特定及び制圧にICTが設置され、ラウンドを通して感染対策の指導、相談を受けています。今はまだ院内活動のみのICTですが、今後は地域の医療機関と連携し感染対策の向上を目指します。

感染管理認定看護師 別府 るみ

チーム Breast のご紹介

人吉総合病院では、院内、地域の乳がん患者さんを対象とし、適切な医療・ケアが提供できるようチームで協働していくことを目的とし、「**チーム Breast (プレスト)**」を立ち上げました。チームメンバーは、医師、看護師、保健師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師、メディカルソーシャルワーカーが在籍しています。

主な活動として、毎月1回 チームカンファレンスを開催し、症例検討や乳がん患者さんの悩みに対応できるよう支援方法をチームで話し合っています。また、乳腺カンファレンス、乳がん患者会の企画・運営、ピンクリボン活動など、今まで個々で活動していましたが、チームとして関わることとなり

ました。



今後、乳がん患者さんの事で相談がある場合、チーム Breast に声をかけてください。

乳がん看護認定看護師 地下奈緒

当院では、乳がん患者様の会「ひまわり会」を開催しております。今回は、7月5日に開催予定です。会員の皆様には詳細を郵送でご案内致しておりますが、「ひまわり会」の案内をご希望の方がおられましたら医療福祉連携室までご連絡ください。

医療福祉連携室：Tel 0966-22-2191（内線 240）

【ふれあいの記】

～院内レクリエーションの記録～

当院では院内ボランティアによる川柳、塗り絵、アロマ教室など、毎週木曜日に、週替わりで院内レクリエーションを開催しております。多くの患者の皆様にご参加いただき、今年で7年目を迎えました。昨年に引き続き、平成23年4月～平成24年3月までの一年間の院内レクリエーションの記録【ふれあいの記】と写真集【ふれあいの日】が今年も1冊の本としてまとめました。



各頁毎の片隅に彩りを添えた自然の花々が、私を励まし絵に向わせるのは、草花たちの生き生きとしたのびやかな姿です。患者の皆様と共にした楽しいドラマの一時々を、寄り添ってしたためた『ふれあいの記』、写



川柳の様子



ふれあいの日

ふれあいの記

真集『ふれあいの日』、ともに心に残る思い出があればあるだけ人生は豊かになり、温かい励ましになり、力となります。2冊の本をまとめることができた、その幸せに心から感謝しています。

春の装いの中で新年度もスタート致しました。

ボランティア 梶原章子

病院建替え工事 進捗レポート

No. 2

人吉総合病院 情報企画課



基礎躯体工事① (平成24年4月3日撮影)



基礎躯体工事② (平成24年4月23日撮影)



基礎躯体工事③ (平成24年5月11日撮影)



100 t クレーン

高さは約40m ※ブーム(クレーンの腕)が垂直の場合。新病院はRF(屋上階)が42.07m、最高43.75mの建物となり、クレーンと同じ位の高さになります。クレーンのブームより少し高くなる予定です。

職員旅行

in 阿蘇 / 黒川温泉

4月5・6日、職員旅行に参加しました。院長先生をはじめ、27名がバスで目的地の黒川温泉へ向けて出発しました。

宿泊する奥の湯と言う旅館は景色も良く、洞窟風呂や檜風呂などの温泉がありました。ここでは、参加者全員が満喫出来ました。しかし、時間が決まっていたので、全て体験することが出来なかったことが残念でした。夜の宴会では、参加者と美味しい食事を頂き、楽しく交流することが出来ました。病棟外の看護師や他職種の方々と交流する機会は、なかなかないため、新入職員にとっては良い機会となりました。

二日目は大観峰や草千里を観光しました。風が強く、肌寒くもありましたが、阿蘇全体の景色を一望することができました。

この旅行を楽しむことができたのも院長先生をはじめ、準備・運転をして下さった職員の方々のお陰だと感



一心行の大桜



宴会の様子



旅先で釣れた山女

謝しています。ありがとうございました。また、医療の現場では、他職種との連携が重要となってきます。そのため、多くの方と交流を深め、患者様を一番に考えた看護ができるように日々精進していこうと思います。



3階病棟 看護師 中村瑞枝

私は今年入社し、入社から1週間も経っていない時期ではありましたが、職員旅行に参加させていただきました。

旅行の行き先は阿蘇・黒川温泉でした。黒川温泉は初めて行きましたが、すごく趣きのある所で、ゆっくり温泉に浸かり、また美味しい料理も頂けて、心も体もリフレッシュすることが出来ました。阿蘇では壮大な大地を見ることができ、自然の神秘を感じることができました。

私は就職したばかりで、周りの方々と顔を合わせる機会も全然無かったのですが、今回の旅行で様々な職種の方と話せる機会があり、良かったです。多職種の方といろいろな話をさせて頂き、とても勉強になり、またコミュニケーションについても学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。私は人と話すのが苦手なのですが、医療の現場ではチーム医療が重要であり、患者さまのより良い看護につながるように、今回の旅行で得た機会を大事にし、職種間の連携を大切に頑張りたいと思います。

技術も知識もまだまだ未熟でご迷惑をおかけすると思いますが、笑顔で一生涯懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



ICU 看護師 瀬上 まい子

日本百名城 人吉お城まつり

5月3日(木)に行われた人吉お城まつりの六調子フェスティバル(大パレード)に初めて参加させて頂きました。アーケードにはいつもとは違う光景が広がり、楽しそうにしている沢山の見物客や踊りながら行進している熱気にあふれたパレード参加者、全てが新鮮でした。

「六調子音頭」「サンバ六調子」の2つが交互に流れる中、私達の出番になりました。風船を片手に持ち、前振りの踊りを見よう見まねで踊っていくのが最初はちょっとでした。しかし徐々に踊りに慣れていき、その他の参加者に引けを取ってはいけないという気持ちが徐々に湧いてきました。夢中になる中で小さな子供に風船を渡しなが、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。地域のふれあいがどんなに楽しく、いかに大事

パレードの様子



なことかがイベントを通して分かりました。

祭りが終わった後は職員たちと中川原公園でのバーベキューでした。料理が一段とおいしい中で、職員との交流が楽しく格別のイベントでした。最初はお城祭りについて何も知らなかったのですが、参加して本当に良かったと思います。

熊本大学医学部附属病院 臨床研修医 寺本 周平



笑って健康促進!

第76回 翔幻会開催!

平成二十四年五月開催分の句をご紹介します。どうぞ鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十四年五月分

- さえずりの右と思えば左にも 章子
- 足音が遊びに来たと言っている 章子
- おばあちやまお手玉今もチヨチヨイのチヨイ 章子
- 菜の花にまぎれて妻の手をにぎり 章子
- 降り注ぐ花びら池を酔わせてる 章子
- メタボ猫人形のモデルになりました カツ子
- はな唄が出れば主人の機嫌よし カツ子
- 桜散りこれから若芽ニヨキニヨキと 地内レイ
- そよ風に目をとじ風にありがとう 地内レイ
- 足わる杖に感謝の毎日よ 深水和子
- プラン立ていざ決行で雨がふる 緋紗
- いざいかんはりきりすぎてギクリ腰 緋紗
- 筍にすまぬすまぬと鉄を入れ 保義
- 巨人軍なかなか勝てずいらついで 保義
- 五月雨つとじと共に兄は逝く 保義
- 深呼吸萌える若葉に感謝して 佐津子
- 娘と孫の弾んだ声に安堵する 佐津子
- あーまさかまさかの火傷大シヨック 良子
- 目を重ね傷みやわらく歩行器で 良子

次回(平成二十四年六月七日(木)十四時から)予防医療センター二階の図書コーナーで開催致します。

ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

新 任 紹 介



前田 茜 (診療放射線技師)

最終卒業校：鹿児島医療技術専門学校

趣味：旅行

好きな言葉：日々是好日

自分の性格：マイペース、どこでも寝れる(長所)、優柔不断(短所)

自分のコマーシャル：動物園で動物を見るのが大好きです。よろしく願います。



坂本 雅子 (2階病棟・看護師)

最終卒業校：筑豊看護専門学校

趣味：旅行

好きな言葉：ダイエット

自分の性格：明るい性格、お笑い芸人のような性格

自分のコマーシャル：自分でも謎だが、手のひらからその人の過去や未来が見える。不思議なことは起こるものだと思う。いつでも見ますよ、ズバリお答えします。



春口 裕子 (医療クラーク)

最終卒業校：熊本学園大学

趣味：英語絵本の読み聞かせ

特技：書道

生活信条：日々感謝

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：初めての病院勤務です。早く仕事を覚え、皆様より信頼を頂けるよう、笑顔で頑張りたいと思います。

4月の勉強会報告

4月25日 人吉緩和ケア学術講演会

「ミニレクチャー」

人吉総合病院 麻酔科 西村有香先生

「当院における緩和ケアの現状について」

人吉総合病院 外科 西村卓祐先生

特別講演「がん疼痛治療の考え方とペインクリニック的治療法」

がん研有明病院 麻酔科(ペインクリニック)医長・がん治療支援緩和ケアチームリーダー

服部政治先生

ライトダウンジャパン2012



地球温暖化防止のためライトアップ施設や家庭の電気を消してもらおうと呼びかける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン(環境省主催)」が2003年より始まり、当院も2009年より参加しています。今年は原子力発電所の運転停止継続に伴い、九州電力が一昨年のピーク需要より10%程度以上の節電を呼びかけています。

ライトダウンキャンペーン10周年を迎える今年、「でんきを消して、未来をみつめよう」をスローガンに、啓発期間として6月21日(木)から7月7日(金)13~15時までと、特別実施日として夏至の日(6月21日)と七夕の日(7月7日)両日の20時から22時まで、お部屋のトップライトと廊下3分の2のライトダウンを予定しています。

また、エコ活動の一つとしてマイバック、マイ箸もお勧め致します。小さなことでも出来ることから...患者の皆様、職員の皆さん、ご協力よろしく願います。

エイド部 深江文代